



2021年7月15日

各位

会社名 株式会社 さいか屋  
 代表者 取締役社長兼社長執行役員 井出 陽一郎  
 (コード番号 8254 東証第2部)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 山野井 輝夫  
 (TEL. 046-845-6820)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年4月14日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 業績予想の修正について

2022年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年3月1日～2021年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,000	3	△70	△72	△23.08
今回修正予想(B)	6,180	△160	△260	△262	△60.33
増減額(B-A)	△820	△163	△190	△190	
増減率(%)	△11.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年2月期第2四半期)	6,521	△439	△466	△528	△169.55

2022年2月期通期連結業績予想数値の修正(2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,000	10	△130	△134	△42.95
今回修正予想(B)	14,100	△153	△260	△264	△56.79
増減額(B-A)	△900	△163	△130	△130	
増減率(%)	△6.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年2月期)	15,002	△639	△732	△837	△268.52

## 2. 修正の理由

当連結会計年度第2四半期累計期間につきましては、当初は新型コロナウイルスワクチン接種の進展等による個人消費マインドの改善が進むことを見込み、入店客数が新型コロナウイルス感染症拡大前の9割程度まで回復すること想定しておりました。しかしながら、ワクチン接種時期の遅れに加え、まん延防止等重点措置の適用や、外出自粛等といった新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入店客数が更に1割程度落ち込む見通しであることから売上高は計画を下回る見込みです。費用面におきましては、ローコストオペレーションを推進し、当初計画内の着地を想定しておりますが、売上高減少による販売収益未達分を埋めるに至らず、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに当初計画を下回る見込みです。

このような状況の中、2021年5月26日より親会社となりました株式会社 AFC-HD アムスライフサイエンス(以下「AFC-HD 社」という。)と業務改善に取り組んでおり、諸々の経費の見直しおよび合理化を進めております。まずは、2021年6月24日開示「親会社からの資金の借入等に関するお知らせ」に記載のとおり、第2四半期より、借入金利の低下により、年間約1億円もの支払利息が削減されます。また、2021年5月14日開示の「資本業務提携に伴う今後の業務計画について」に記載の AFC-HD 社とのシナジー効果による売上拡大策の準備を第2四半期より進め、第3四半期より実行します。具体的には、AFC-HD 社の通信販売コンテンツや EC インフラの活用、健康食品・サプリメント等の AFC-HD 社商材の販売拡充等を実施するほか、横須賀店の稼働率を現行の6割程度から更に2割程度上げることでより収益拡大をはかってまいります。更に、事業環境面においても新型コロナウイルスワクチン接種率上昇による個人消費マインド改善効果等に加え、当初2022年度からの実施を検討していた創業150周年企画を前倒して実施する事により、第3四半期以降の業績回復を目指してまいります。

※上記業績予想は、現時点において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上